

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【3班】

地 区 コ ミ	大村地区コミュニティ協議会			参加人員	3 4 人	
開 催 日 時	平成2 5 年 5 月 2 4 日（金） 1 9：0 0～2 0：1 0					
開 催 場 所	大村地区コミュニティセンター					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出欠	担 当	議 員 名	出欠	担 当
	中島 由美子	○	挨拶・司会進行	川添 公貴	○	
	橋口 博文	○		森満 晃	○	記録、報告書作成
	森永 靖子	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 大村団地の販売促進、藍屋住宅の家賃値下げを図ってほしい。

《意見交換の概要》

◆ 薩摩川内市で値下げや補助をしてもらいたい。

◇ 大村団地については、販売価格の値下げをしている。ホームページで区画販売の情報等を流していて問い合わせも多い。行政側に対しても重ねて広報活動の強化をお願いしている。また、友人・知人などへも周知をお願いしてほしい。

藍屋住宅の家賃値下げについては、法律で家賃係数が決まっていて所得が毎年変わらなければ家賃は毎年下がっていく。家族全体の総所得での計算方法である。国の法律であり、市の単独での値下げは出来ない。また単身者の受け入れについては随時、相談に乗っている。

2 久富木川と瀬早川、小久留須川の合流地点から旭橋間を親水公園化してほしい。

《意見交換の概要》

◆ 用水路化している間知ブロックを取り除き、川底を少し下げ親しみやすい川岸にしたい。

◇ 地域活性化事業や宝くじ助成など補助事業等を活用して、草刈り用のモアなどを購入し、住民が中心になって徐々に改善していくことも必要では。なお、県に対して作業の登録の申請が必要である。また、子どもたちが帰って来られる環境づくりという観点から市・県へ要望していきたい。

3 支所の廃止について町民は強く反対しているが、各議員の考え方を聞きたい。

《意見交換の概要》

◆ 支所の廃止について町民は強く反対しているが、各議員の考え方を聞きたい。

◇ 支所の廃止案については、白紙の状態である。

市の防災計画（原子力対策編）において、緊急時の場合は祁答院支所を仮庁舎として活用することとなっている。事務を精査をして全体を縮小して支所を残す案も必要ではないか。

住民にいちばん直結しているサービスの部分など、それぞれの支所で必要な仕事は、しっかりやっていくことが必要と考える。

《主な要望等》

◆ 縮小することによってサービスの低下を招かないかを懸念する。

4 その他

《要望等》

- ◆ 30年前の土地改良の際、すべての井堰を撤去してポンプを設置し、基金で運営してきたが、基金も底をつき運営が厳しいので、以前のような自然流下方式の井堰にできないか。
- ◇ 統合整備事業を取り入れて、その中で各地区の要望を受け、計画的にやっていく必要があると考える。

- ◆ 大轟小学校の児童数減に伴い、今後校区外からの通学が可能か。
- ◇ 区域外通学は、原則認められない。特認校制度も、現状では難しい。

- ◆ 合併後、道路の中でも特に市道の傷みがひどいようなので、補修の予算確保をお願いしたい。

- ◆ 大村温泉横のワーキングプラザ祁答院の施設は、使用料が高いため、地元で有効に利活用することが難しいので、どうにかできないか。
- ◇ 市の財産活用推進課が管理している施設だと思われるが、現状が分からないため確認したい。なお、地元議員から返答させていただきたい。